

館長講話② 「芸術」の陰謀、再び

# パンデミックの現在に

文明開化から150年。西欧に学んで再編成された我が国の芸術・文化は、コロナ禍のIT時代を迎えて大きな転換点に差しかかっている。継承され創造される「現代」の文化の実相を、複製とオリジナルという複眼でとらえ、「芸術」に隠されたウソとホントを白日にさらす。

お話：寺嶋弘道（有島記念館館長）



日時

2.18 (土)

14:00-15:30

会場

有島記念館 特別展示室

聴講無料

観覧料(大人 500 円、高校生 100 円)が必要です。中学生以下、および 65 歳以上のニセコ町民は無料。

てらしまひろみち 1955年滝川生まれ。1978年金沢美術工芸大学卒業後、学芸員に。道立三岸好太郎美術館を振り出しに道立近代美術館、道立帯広美術館、道立文学館、道立釧路芸術館などに勤務、2015年道立近代美術館学芸副館長に就任。その後、本郷新記念札幌彫刻美術館館長を経て2021年から現職。

主催 ニセコ・有島記念館

〒048-1531 虻田郡ニセコ町有島57番地 tel.0136-44-3245 fax.0136-55-8484